THE WOMAN'S WEEKLY

第三卷第八號

大正六年二月廿三日發行（毎週金曜日發行）

大正四年十一月四日第三種郵便物認可

婦人週報

目次

□汽車中の婦人……小橋三四子
□時事週評……
□下層民に對する社會政策……山脇博士
□一人一評‖松室こと子……鐵村生
□ラスキンの婦人觀……久布白落實子
□短歌「石の如く」……安中花子
□新舊衝突物語 炭と瓦斯……近藤粘
□名物教授 怒るな働け主義の嘉悦孝子女史……兵子
□圖書館の婦人……K子
□年齢と犯罪……横山雅男
□職業案内 料理方……
□都會人の退化……澤田新殺
□牧場から家庭に……牧人舎主任
□雛の節句の献立……和田むめ
□オトギバナシ「二疋の蜂」……花巖
□子供の智慧「△足袋屋のなおちゃん」……
□小説「力」……木内錠子
□新刊紹介……
□時事……編輯室より

定價一部四錢五厘 郵税五厘

婦人週報社

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

講談倶樂部

名作揃ひの三月號

▼江戸史蹟女小刀（新講談）……須藤南翠
▼松山奇談狸退治（新講談）……大河内翠山
▼悲絶哀絶濱千鳥（長篇新小説）……篠原嶺葉
▼くるわ大名（新講談）……荻原小花
▼寫眞小説ふもと（伊藤靜雨畫）……筑波四郎
▼繪卷小説色懺悔（高畠華宵畫）……白根峽雄
▼千鳥ヶ淵（長篇新小説）……渡邊霞亭
▼みなしご（長篇新小説）……中内蝶二
▼春のながれ（長篇新小説）……佐藤紅緑
▼三虎物語（長篇新講談）……本田美禪
▼文七元結（浪花節）……早川燕平
▼隱退したる朝重（月旦）……臺町生
▼戀の牡獅子（新講談）……高瀬文淵
▼演藝評判記（演藝月旦）……山野烏平
▼一頁物、二頁物、演藝、雜錄等數百篇
▼特別大懸賞募集 賞金、賞品二千餘圓

定價廿八錢 郵稅二錢　東京本郷駒込 振替六六二九　講談社

面白倶樂部

▽戀の詩利　▽學子美訣　▽戰圖掃話　▽親心子心　▽姫始の巻　▽四谷坂町

▽木枯（歷史小説）……笹川臨風
▽潰れた卵（新小説）……前田曙山
▽信玄の木像（歷史小説）……稻岡奴之助
▽うらの表（新小説）……渡邊霞亭
▽八百屋の娘（歷史小説）……本田美禪
▽二人殺し（探偵實話）……筑波四郎
▽史川柳（圖解）……澤田東洲
▽女優熱（活動寫眞）……吉岡金造
▽不思議な謎（お伽噺）……西川霞岳
▽片あぶみ（繪噺）……伊藤青雨
▽藝術の淺草（論說）……春川歌二
▽彰義隊の墓（新詩）……兒玉花外
▽エヂソン物語……石澤愛孤

▽少年少女欄　▽婦人實驗　▽名流奇談珍聞　▽地口集　▽御存じでせうか
▽新聞の新聞　▽滑稽浪花節　▽素人手品　▽親ご夫の衝突　▽嫌み函
▽學校及學生　▽主婦の常識　▽古今風流函　▽成程集

▽破顔大笑　軸ほめ（落語）……松廼家緑
▽俠客物語　會津の小鐵（講談）……大河内翠山

□本誌は廣告頁にも面白き讀物を掲載す

定價拾錢 郵稅一錢　東京本郷駒込 振替六六二九　講談社

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

汽車中の婦人

記者の所見と感想

□一室に五人の女

大阪からの上り列車の一室に十四五人の客が乘り合せて居ました。それは國家の中堅と云はるゝ中流社會の人らしく見えました。中に女は五人、一人は新婚旅行の新郎と並んだ新婦、他は年增と中年の女が一人の男に連れられて居るのと、大丸髷に結つた奧さんが、商人らしい夫に伴はれて居るのと、そして片隅に陣取つて居る私とでした。遙かこの四五の女の所作を、見るともなく眼に寫した私は、後れて居る女の世界と感ぜずには居られませんでした。

□新婚の男女

新婚旅行の二人は、初めは樂しげに語り合つて居ましたが、やがて新婦はうつら〳〵とし初めると、新郎は棚から鞄を取下ろして、毛布を布いて、程よい寢所を作つてやると、新婦は遠慮もなく此處に橫つて終ひました。新郎は次の驛に來ると「日本及び日本人」を買ひ求めて、讀み初めました。男女の生活が新婚の初めから、かうして懸隔して行き、終に幾年か後には全く理解の無いものになり、妻は只高等下女として待遇らるゝ慘めさがなくば幸ひと思はるゝのでした。

□男の機嫌をとる女

今一團の女の群は、頻りに二人で男の機嫌を取つて居るのでした。中年の女が卷煙草に火を付けて男に渡すと、男は橫手にこれを取つて口にする、年增は「御酒が醒めては、元氣が出し難いでせう」などゝ云つて居る。さればと云つてこの、二人の女はさる者らしくも見えない、商人の夫婦に實家の母らしい俤があります。柔順を用ひ誤つて、只亭主大事と、男の氣隨氣儘を許した擧句、男をして酒に浸り、煙草を口にし、女を奴隷にするに至らしめたのではなからうかと思はるゝのでした。

□化粧に餘念ない女

もう一組みの大丸髷に結つた奧さんをと見ると、一と眠りしては懷から紙入れを出して髮をかき、顏直しをし初める。食事の時になつては、「汽車中などでは人の物を食べるのを見ても心地が惡るくなります」と云はぬ斗りに、夫が甘氣に食事するのを見て、顏を伏せて居るのでした。この婦人には樂しかるべき汽車旅行が、少なからぬ重荷のやうでした。其の精力の多分は衣裝や髮容に殺がれて終うらしく、容貌こそ醜からね、顏は神經的に靑く、身體は賴りなげに瘠せ細つて居るのでした。

□きび〳〵した婦人

何れも何れも賴もしからぬ女の人々を見て、少し心寂しく感じて居る時、ふと硝子戶越しに二人の子供と女中を伴つた二十八九の婦人が見ゆるのでした。夫が東京への轉任を、家族を引纏めて後より引移るかの如き光景で、手荷物も少なからず、送られた果物籠なども澤山でした。夜の內はどうして居られたか、一向に氣付きませんでしたが、國府津邊りで夜が明けると、きび〳〵した活動を初めるのが、硝子戶越しによく見えます。先づ荷物の整理を初めて、二つの籠の果物と二つの折とを一つの

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

手提籠に入れたり、小さい樽や四角い紙包の數箇をまとめて繩をかけたりして、持ち運びに都合よくして終られました。それから洗面所に立つて顏を洗つて來て、化粧鏡を立てゝ手早く髮を結び、化粧を濟まし、着付けを直して、一夜を列車中に明かした人とも思へぬすが／＼しい有樣となられました。それから二人のお子さん方の顏を拭き、女のお子の髮を結つておやりになる。この間に女中は自分の身仕舞をしたのみで、何の手傳ひもしませんでした。この奥さんのどこかには新教育を受け、體操等で頻りに身體を鍛へられた跡が見えます。これを見て私は聊か意を強うする事が出來ました。

□伴侶者の不幸

僅か十數時間の汽車旅行にもかうした幾組かの不甲斐ない女の人々を見て、伴侶者の不幸を思はずには居られませんでした日本婦人は可憐が其の特徴であり、また可憐故に愛されるなどゝは、いかに空想であるかは、この數人の女を見ても、直ちに判斷する事が出來ます。共に旅行さへも樂しめぬ伴侶者であつて、いかで人生の行路の辛勞を頒ち擔ふ事が出來ませうか。前にかゝげた最後の婦人の如きであつて、初めて後顧の憂ひなき家庭生活を營む事が出來ると申すものです。

かやうな觀察をし、さま／＼の感想に耽つて居る列車の片隅にあつた私には、夜の長きをも感ぜず、語る友なき淋しさをも思はず、いつの間にか東京驛にと運ばれて終ひました。日々を多忙に送つて居る身には、汽車中の十數時間は一方ならぬ休養であり、また自由な考へに耽る事が出來た幸福な時でありました。そして健康な身體を與へられ、身に餘る重荷に常に堪へてゆく事を感謝して止みませんでした。（三四子）

時事週評

二

□花嫁の自殺　神田區今川小路の石材問屋鍋島と呼ぶ家の長男盛太郎(三三)が、妻梅(一八)と共に鵠沼の別莊に滯在中、梅の三味線が藝者のそれに及ばぬとて、機にて叩きしより姑の前にて恥を搔かされしを遺恨に思ひ、十八日未明お梅は寢室を拔け出し、三味線の撥を抱へて投身し、非業の死を遂げました。お梅は日本橋の書籍問屋の娘で、もと／＼財產の違ふ緣談であつたさうですが、美貌でもありましたらうが、強つての所望に緣付かせたとの事です。然し夫の盛太郎は肺患者らしく、常に海岸に在つて養生すると稱して、遊興の日々を送つて居つたさうです。この悲劇の起つた最初の原因は、親御の不注意で、極めて見易い健康の一事をも調らべずにやつた事ですが、また早婚といふ事も悲劇を生むに與つて力あります。女がも少し強く、分別があつたならば、死なくても濟んだであらうものをと思はれますが、十七八の女には、或はそれは過ぎた望みでありませう。返す／＼も氣の毒な運命でありました。

□小蘋女史逝去　南畫の大家として女として唯一の帝室技藝員として、其の名高かりし野口小蘋女史は、かれて慢性氣管支加答兒にて危篤を傳へられて居りましたが、十七日遂に逝去されました。女史は一時南畫銷沈して、當代知名の大家中にも四條派を慕ひ、油繪に移らうとした者がありましたが、其の苦境に立ち、終始一貫して、南宗畫を棄てなかつたと申します。それ故繪に對しても忠實正直で、一點一花と雖、忽かせにしなかつたと申す丈けでも女史の人格は說明して餘りありませう。とにかく女といふ割引なしに、藝術界の大家と押さるゝ女史の如きを、また再び得ることは容易に望まれぬ事でありませう。

□用心は他人に賴むな　市中の某所に此の間火事がありました。女中が、自分の室に火鉢を抱へ込んで寢ろ前に暖を取つたが、其儘眠つて了つたので夜中其の火が蒲團に移り遂に燃え出し、女中は燒死したのです。其家の主人夫婦は二階に寢て居て、パチ／＼する音を耳にしながらも夢心に聞き流して氣にも留めなかつたといふのです。其中パチ／＼が甚しくなり、主婦が下りて來て見た時には火が女中室一圓に燃えて救ふことが出來なかつたのです。周章てゝ主婦は二兒を屋外に運び出そうとしたが、門の鍵は女中に預けてあるので、門を開く事が出來ず、おろ／＼して爲めに家財を一つも出し得なかつたといふのです。

此話が二つの大缺點を暴露して居ます。一つは、一家の締りを若い女中に托した事、一つは火の用心を忽にしたこと。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

下層民に對する社會政策

上流婦人の蹶起を望む

法學博士　山脇玄

□健全と半身不隨

歐洲の戰爭が二年半も續きながら、尙ほその勝敗が決しないのは種々な原因に基するでせうが、その一つには、下層社會の男子が外にあつて一身を犧牲にし、女子が內にあつて軍器軍需品食料品の製造に就いて後顧の憂ひなからしめてゐる事も忘るべからざるものであります。戰時と平時とを問はず、國民が働くと働かないとは國家の盛衰消長に非常な影響を來たします。夫れは身體の健全な人と半身不隨な人とを比較した時に、後者が前者に一步を讓るのと同じであります。而して國民が一旦緩急ある場合に義勇奉公の義務を果し得るのは、畢竟下層民に對する社會政策宜しく、心身の修養上間然する所なきによると言つて宜しいでせう。しかるに我日本の現今の狀態を見ますに、遺憾ながら半身不隨の不健全なものと言はざるを得ません。私は此際、國民特に上流の婦人が潑溂たる勇氣を以つて蹶起努力し、國家の爲めに大いに活動の端を啓かれんことを切望して居るもので有ります。

□心身の兩方面より

凡そ社會國家が婦人の努力に俟つ事業は、之れを概括すれば物心の兩面から國力の充實を企圖する一事に歸着致します。而して社會の各方面を對象にしてその改善發達を圖らねばなりませんが、實行の第一步としてはまづ上流社會の婦人が下流社會の地位を向上せしめ、その生活を安固ならしめる策を講ずることが緊急事であると思ひます。日本にも多くの婦人の團體や大小の婦人共同事業はありますがその事業は概ね小局部に限られてゐて花々しいものはない。若し之れ等の團體がその餘力を集中してこの社會事業に當る覺悟を持つならば、如何なる事も出來ないものはないでせう。その內容を具體的に示すなら、先づ下層民の精神を啓發誘導して常識を發達せしめ、衣食住に不足なくして身體の健全を保たしめることであります。この二途は我國現下の急務であつてしかも上流婦人の努力に俟たねばならぬ事であると同時に、又彼女等の國家社會に盡すべき當然の義務であらうと思ひます。

□講話會と保育園

まづ下層民の精神修養の一方法としては、簡易な講話會を開き、最も平易に解り易くその家庭生活夫婦關係等の常道を敎へることから、次第にその步みを進めると宜しいでせう。又最も大切なのは幼兒の養育事業で、小學校に入學するまでの幼兒を預り、相當の敎育を施し、又之れに袋貼りその他極簡易な手藝を習はせるなら、彼等自身の爲めにもなり、又幼兒預所の事業ともなる譯であります。斯うして女工社會の仕事の手助けともなるやうになれば、大なる効果があると思ひます。野口幽香子女史の經營になる四ッ谷及び新宿の保育園の如きはその適例でありませう。

□日用品の安價供給所

次ぎに彼れ等の衣食住に就いても吾人の大いに攻究を要する

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ものが少なくありません。今日市内の各所に散在する共同長屋の如きは、何れの點から見ましても人間の住むべき所とは思はれない位ゐであります。假令構造は粗末でも、空氣の流通がよく、日光の直射するやう工夫して廉價で貸與し、又その食料品を最も低廉に供給するやうな設備をすることは、今日の社會の現狀から察して最も適切な事業であります。昨年の冬以來本所太平町に開業した小林勇之助氏の日用飲食料品安價供給所などは全くこの趣旨に出た美擧であります。今や米其他の日用品の價が戰爭前に比して六割以上の暴騰を見るに當り、吾々市民の最も必要を感ずるのは公設市場の設立であります。その市場に於て魚類、野菜乾物等を廉價で供給し、市民殊に下層民が斯うした機關によつて日用品全體の供給に不自由を感じないやうにならねば、營養不良の結果心身衰弱して平素の勞働にさへ堪へ得難くなりますでせう。又デパートメントストアの如きものを設け、日用品を陳列して市民の縱覽に供し、賣品は一々配達する樣な方法をとるのも宜しいでせう。又貴婦人の着古した衣類を集めて時々バザーを開き、下層民に廉價で販賣するも宜い。

□下層民の兒童の死亡率　さて何れの國でも國民の大多數を占めてゐるものは下層民であります。夫れ故彼等の健全であると否とは國力充實の上に大

四

なる關係を來し、その結果は直ちに徵兵生產等の上に現はれるのであります。殊に近年我國の初生兒少壯女子の死亡率の著しく增加したのは統計が示して居ります。今から十四年前獨逸國で初生兒の死亡率が非常に增加して出生兒の五分の一に達したので、之れは國家の安危に關する一大事として調査した所、果して粗惡な住居營養不良がその一大原因である事を發見したので直ちに之れが救治策を講じた結果五年を出でずして半減したと言ひます。斯うしてこそ初めて上流社會は下流社會の尊敬を受け國民としての義務を果すことが出來るのではないでせうか、日本の如きは社會組織の不完全な國では下層民の心身の發達に大なる缺陷のあるのは當然でありますから、特に上流の婦人達は、永き眠より目覺めて意を大局に注ぎ、之れ等の社會的事業に向はれん事を切望して止まぬ次第であります。

（一人一評）

松室こと子

◎四月廿日に行はるべき總選擧の如何に烈しかるべきかは、吾人共に想像してゐる。が、當選の冠を贏える爲に、理性を没却して、黄白を撒くことにもならう。こゝに於いて二萬とか、或は三萬とか云ふ法外の運動費を必要とすることにもなる。

◎が、今度と云ふ今度は、果して選擧に買收が行はれるであらうか。と云ふのは――此の總選擧を監視し、取締るのが現内閣の司法大臣たる松室致氏であるからである。松室氏は檢事出身の非常に辛辣な手腕の持主であつて、その犀利の眼は隅から隅に迄も徹底してゐるので、如何に巧に法網を脱れやうとしても、決して容赦せぬ『ヒシ〳〵やつつける』と申してゐる。實に選擧を爭ふ人々に松室氏は青鬼であり、赤鬼である。

◎併し家庭に於ける松室氏は、こわい人でなく、鬼でもない。温和の好々爺であつて、不斷に松室家には春風が吹いてゐる。これも亦聰明の琴子夫人があつて、最も細心の注意を致してゐるからであらう。大臣の妻となりし琴子は、矢張り床しい奥床しくして、あの官邸に眞人と子女の爲に、決して虚榮に流れしことがない。或人は『松室の冷酷を旨く調和するものは琴子夫人だよ。ウム、夫人はなか〳〵のえらもので、松室以上の人物だ』と評してゐる。（綾村生）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ラスキンの婦人觀（上）

文豪の婦人觀（二）

久布白落實

□男女の高下

ラスキンは男女に高下を云ふを以つて、愚の骨頂と申して居ります。兩々相待つて、一箇の人間を造る可きものであり、剛柔相包み、陰陽相和し、長短相補ふ可きものなる男子と女子とが、其全然異なる性質を以つて、之れが尊卑高下を品評するは、最も愚と云はねばなりますまい。

□古の大家を參酌して

然し男女問題は、古來人生の大問題たるを失ひませぬ。此れを輕々に取扱ふとは、彼れの如き、大文豪の敢てせざる處で御座います。ラスキン常に云ふ、難問あらば行いて沈默の友書に語れ、彼れは千百年來の經驗と分別とを與へんとして幾久しく御身を待ち居るなりと。ラ氏に從つて先づ英國のセクスピヤに行き此の大問題の解決を求めませう。ラ氏は逐一、セクスピヤの傑作を論評して、彼れの作中には、理想的婦人を見れど、理想的男子無しと論斷して居ります。

此の論斷が當を得て居るか否かは別問題として、淺學私共の窺知する處でも、セ氏の作中、女傑多き一事は、見逃し能はざる處です。更らに進んでラ氏はダンテに行き、全詩の理想の人忠告者たり、指導者たり、ダンテを導きて、地獄より天國に到る大旅行を終しめ、敎へつ、訓しつ、戒めつ層一層と彼れを導き行くは、其意中の婦人、今は理想の人ビヤトリスに非ずやと結んで居ります。最後にラ氏は史小說の大家、ウオタースカットにゆき、彼の描きし人物を論評し、かのリベカの如き、アイバンホーに勝ること數等なるを云つて、彼又婦人を以つて、人生の指導者の地位に立たしゝめ居る事に論及して居ります。

□この矛盾を如何

然るに此處に、私共の眼前に日々目擊することは、結婚せる婦人の狀態です。婦人一度嫁して、家庭の人となるや、彼女は全く其進歩發達を止めます、働きにをき、思想にをき、判斷の如きは殆んど全く男子の專有するに任せます。甚だしきは事物に對し、獨立に思考する力さへ失つて仕舞ひます。結婚せる婦人の現狀は、如何に贔負目に見ても、決して男子の上に立つ、體力も、力量も、識見も有りませぬ。この矛盾を如何に致しませう。故人、大家は徒らに人形を盛裝せしめたに過ぎませぬか或ひは又架空の言を爲して、私共を愚弄したので御座いませうか。

□處女の權威

ラ氏は進んで述べて申します婦人も處女の時代には、又異なつて居る。特に約束期、戀人の時期に於ては、男子に對し非常な力を持つことが多い。古武士が試合に出づる時、其帶ぶる處は老人の印であつた、試合を終へて勝敗の審判者には、常に妙齡の婦人を立て、之れが手より勇者は、其褒賞を受くるを光榮とした。ラ氏は更らに附記して居ます。今日道義上の戰ひに男子を送り出す時、婦人の力は決して尠少でない、祈を以つて後援せられ、同情を以つて勵まさるゝ勇者は、又常に勝利者たるを失はぬと。男子をして正義を行はしめ、之れが戰ひに死を賭して、奮戰せしめ得るものは、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

實に義を愛し・正しきを慕ふ婦人の後援に越すものは有りませぬ。

□眞の女

ラ氏は更らぬ筆を轉じて、眞の女と其職責を詳說して居ります。氏の言を假りて云へば、眞の女の在る處には、家庭があると申すことで御座います。

家庭とは、決して檣と玄關をもて、仕切りし家を指すのでは御座いませぬ。生活の不安、愛の疑ひ、疑惧、憂愁、危險より離れて人に安心、滿足、平和、安息を與ふる場處の謂になりませぬ。眞の女の立つ處には、例ひ其家は、靑天井の下に、橋懐に露店を張る如き處でも、やはり一家の團欒は充分に味はるゝので御座います。良人は滿足して歸り、來つて打ち寛ぎ小供は遊びをやめて、馳せ歸つて母の手に抱かれ、何等心を置く處なく、夫婦、親子相睦む姿は全く天國の縮圖です。

若し夫婦のいづれかが、此の内に危險を醸ぜしめ、疑惧を抱かせ不平の種子を播かんか、一家は忽ち家庭たるを失ひます。眞の女は頭に天を戴いて過またず、足に地を踏んで動ぜず、良人の慰安者、小供の保護者、安心と喜びの泉となつて、一家を支へ、之れを抱いて參ります。眞の女の立つ處には、世界到る處ホームあり、奮鬪の世界も亦樂園たるを失ひませぬ。貴き婦人の天職や、如何にして凡べての女子を、眞の婦人たらしめ得るか、次號に少しくラ氏の女子敎育法を紹介して見ませう。

六

石の如く

安中花子

石の如く心もだして音立てぬ此の日來りぬ運命の前に。
天が下に變らぬ戀を求めてし其の愚さは今日ぞ知りぬる。

新舊衝突物語（三）
炭と瓦斯

近藤浩

嫁は姑が瓦斯で焚いた御飯は臭いと不平を云はれるので、試みに炭で焚いて見ますがその度毎に出來そこない、矢張り瓦斯に逆戻りしてしまいます。姑の方でも大急ぎでお湯をわかしたいと思ふ時なぞ、鐵瓶を瓦斯にかけたい事は山々だが、マッチをすつてつける時、あの音の恐ろしさに實は近よる事も出來ず、仕方なく矢張り炭をおこして暫らく吹いてといふ時間つぶしをよぎなくすることになります。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

名物教授（六）

怒るな働け主義の

嘉悦孝子女史

▲「怒るな働け」主義の鼓吹者日本女子商業學校の嘉悦孝子女史の教授ぶりを見る。某日の朝、八時から九時まで。兎角に怠けもの丶朝寝坊がちな私には、その時間に間に合ふやうに出かけるのは、一通りならぬ努力であつた。何となく、ぶつぶつ言ひたくなる。

▲授業は三年生の家事で、衣服に就いてのお話しであつた。女史はまづ生徒に教科書をよませそして教科書にあることだけでは足りないと思ふ節々をお講義なさる。往來に沿ふた明るい教室には七十人餘りの生徒が行儀よくゐ並らんで、一心に耳を欹てゝゐた。女史は教壇の上の椅子に輕くよられて、

「衣服に就いてはまづ何よりもその本質を忘れてはならない。何がためにと言ふその之れを用ふるに至つた本質を忘れると即ち本末を轉倒した妙なものになつて了ふ。親はうす暗い裏長屋にあつて終日袋貼りなどの内職に汲々としながら、娘には銘仙の着物にカシミャの袴を着せて學校へ行かしたりする。夫れは子を愛する親の情けが然らしめるのであらうけれど、即ち身分を忘れ、衣服の本質を取違へた行爲であらねばならぬ。」と仰有つて、要するに衣服と言ふものは禮儀作法に適つた身分相應なものであれば宜い、と結論をおつけになつた。その講義ぶりは何處までも地味である。底力はあるが、熱が乏しい。まだ十六七の小娘達に、家事など言ふ縁遠いやうなものを講義なさらねばならぬ夫れ自身が少なからず無理だからでもあらう。

嘉悦孝子女史と女子商業學校

▲女史は中古の黒紬の紋附羽織を召してゐた。講義はまたつゞく。

「私は十七八の學生の頃から學校へいくには黒紬の羽織と言ふことに決め夫れから今日まで着つゞけてゐますが、何時も之れが最も私の身分に適してゐると思つてゐます。」など丶仰有つて羽織の袂を翻したりして御覽になる。口で稱へる百萬言の質素より實行の一事が人の心を強く捕へる。

▲女史は最後に呉服店の大賣出しに行つて見ると、電車の中などでは何處の令夫人かと思ふやうに取りつくろつた人達が、さながら修羅の巷のやうに反物を奪ひ合つてゐる。安くて體裁の宜いものを買はうとするからである。實質以上に見せやうとする卑しい心からであるとその如何に醜惡であるかを語り、人間の貴さは内から發する靈の光りであらねばならぬ、とお結びになつた。「怒るな働け」の表面的な主義の中にも斯うした内面的の光りが加味されてゐる。寶冠章も此處に至つて光りがあると思つた。生徒も先生も他校に比して極めて質素である。―（民子）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

圖書館の婦人

智識の公開の倉庫を如何に利用せるか

□圖書館巡りを思ひ立つ

國民黨の首領犬養木堂氏が、忠實な僕を備ふことになつたり動物を愛護したり、身分不相應な事をしたりすることの意味になる不思議な世の中にあつては（本誌三巻六號の社說「女生徒の常識」を參照）知識の公開の倉庫たる圖書館を利用して、自己の智能を啓發しやうとする女の人が幾人あるであらうか、私は物珍らかな心を抱いて、日比谷、大橋、上野の圖書館巡りを致しました。朝夕運んで與れる新聞紙を一つ讀まうと努めることの少ない彼女等であるからには、館員に尋ねることさへ、何となくうら恥しくさへある――

□先づ日比谷に

その日は恰ど日曜日でありました。麗らかな春の日光は、天にも地にも漲り溢れて、歡樂の巷に、郊外の散歩に、至る所に人の心をそゝつてゐるのに、まづ日比谷の圖書館へ行つて見ると男子部は滿員と言ふ札がかゝつてゐます。萬一、出てくる人もあらば入り代りに這入らうものをと、入口に群り集つてゐる七八人の男の人の間を掻き分けかねて、私が一寸立ち止りましたらば、

『婦人席はまだ幾人でも這入られますよ。』と受付けの人が目覺く見付けて聲をかける。この一言で、見ずして婦人席に人のすくないことが證明されて、頼りない氣分におそはれました。貸し出しの係の人は言ふ――

『此館へは近頃、平均日に四五十名はお見えになります。そしてその人達を見てゐますと、明かに二つの傾向に分れてゐるやうに見えます。その一つは受驗生で、主として產婆、看護婦、齒科、藥物學等の專門の書籍を借りる人で、（現在はまだ中等敎員の受驗生は少ない。）他は思想的のものを見る人であります。その後者に屬するもので今勢力を占めてゐるのは杜翁物で、夫れに次いでは社學的、哲學類であります。云々』と。そして筆蹟を見て、筆蹟の上からこんな人が讀んで分るだらうか、と思ふやうな人にも、杜翁のものは讀まれてゐると感心してゐました。私はその觀察の面白いのと同時に、そんな人達は杜翁の如何なる本を讀むだらうかと物好きな心から尋ねて見ますと、小說類ばかりでなく、可成り六ケ敷い論文などを借りるとの事でありました。そして此館の御得意は女子大學や女子英學塾の學生に多く、その人達の讀書力を見ると殆ど男子と大差なく、その選擇する書籍も、社會學や哲學など、言ふ高級なものであるとの事でした。三月頃になると日に六十人は缺けないとのこと。時には一寸分らぬ風采の女が流れ込んで、サラ〳〵と備付けの雜誌の口繪を見ていくことなどもあるさうですが、夫れでも圖書館に來るだけでも宜い、と係員は笑つてゐました。

『何うかして、世間一般の人に利用して頂きたいもので』と。中年の人も可成り出入りするがさる地位ある某夫人などは、夫の本まで自分で選擇してお持ち歸へりになると言ひます。

『一般の婦人がこの程度に進まねば駄目ですね』と言つてゐました。閲覽室に行つて見ると、四十人あまり婦人が机に向つてゐる。丸髷の婦人が娘らしいお下髮の令孃を伴つて這入つて來られるのに出會しました。

□次は上野に

日比谷を出ると私は上野へ行

八

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

つて見ました。圖書館の門外には三人五人と木立の間を男の人が物待ち顔に逍遙してゐます。受付けでは、

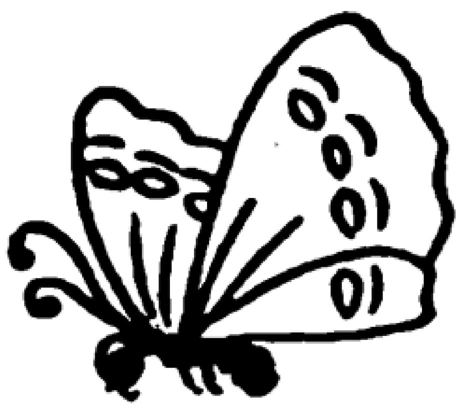
「三百何十番！」など、聲高に館員が呼んでゐる。女の人はすい／＼と譯もなく這入つていくのに、男の人のみ外に殘つてゐるのは、男の方が滿員なためでありませう。係りの人は言ふ。

「來館の婦人を何と何と、判然區別することは六ケ敷しいのですが、齒科、看護婦、藥劑師、產婆などの試驗を受けやうとでもするらしい人が可成り來られます。哲學文學方面の書籍も可成り出ますが、何を調べられるのか、古い新聞を見て行く人が一寸／＼あります。また女子美術學校の學生やまたその專門の人達でせう、古い繪を見て行く人も隨分ある。近頃婦人の方は一日平均二十五六人です。」云々。閱覽室へ行つて見るとお晝のお辨當の最中で、机の上に甘納豆が轉がつてゐる所もありました。平家物語を讀んでゐる人もあつたけれど、多くは生理學などでした。室内はストーブでムレ／＼と溫かい。

口大橋圖書館に

麴町の大橋圖書館へ行つたのはもう夕暗のせまつてゐる頃でした。此處では日誌を見ましたが、古文學と教育學と生理學の類が多く出てゐました。新刊の純文學物が隨分備へ付てあるのに、夫れを見てゐる人は少ない。何故か事務の一老人は夫れを、「極めて宜い傾向です。」と悅んで居られた。

閱覽者は日に二十人前後。女子高等師範學校の人が可成り來られるさうです。市内の大圖書館と目されるこの三つを合はせても、觀覽人は一日百人に充たないとは、何と言ふ心細いことでせう。とは言へ日比谷の如く日々思想的に向ふ人の集まるを聞けば、言ひ得ず嬉しくもある。產婆、看護婦、藥劑師などにならうとする人の多くなつたのも、研究すれば面白い社會現象があらはれるだらうと思はれます。（K子）



年齢と犯罪

内閣統計局 横山雅男

年齢は犯罪に極めて密接の關係を有するものである。今大正四年に於ける我が邦の刑法犯有罪被告婦人七千九百八十一人を其年齢に分けるとかうなる。

年齢	實數	百分比	
十四歳以上十六歳未満	六五	〇、八	未成年 七、一
十八歳未満	一九八	二、五	
二十歳未満	三〇五	三、八	
二十五歳未満	八五五	一〇、七	壯年 六二、九
三十歳未満	八九七	一一、二	
四十歳未満	二二三〇	二七、九	
五十歳未満	一七七〇	二二、二	高年 二六、七
六十歳未満	一〇九五	一三、七	
七十歳未満	四八八	六、一	老年 三、三
七十歳以上	八三	一、〇	

三十歳乃至四十歳が最高で、百分比中二七、九を占め、之に亞ぐのが四十歳乃至五十歳の二二、二で、第三番が五十歳乃至六十歳の者である。更に見易き爲め年齢を括約して未成年、壯年、高年、老年の四階級に分けると、犯罪年齢級なる壯年の者は六二、九即ち總數に對して六割三分を占めて居る。此の分配は男子に在つても同じである。

次に婦人の犯罪が同年齢級の男子に對して如何なる有樣であるかを見るに、左の通りである。

年齢	實數 男	實數 女	百分比 男	百分比 女
十四歳以上十六歳未満	五〇〇	六五	八八、五	一一、五
十八歳未満	一九四三	一九八	九〇、七	九、三
二十歳未満	三七〇七	三〇五	九二、四	七、六
二十五歳未満	一二、七一六	八五五	九三、七	六、三
三十歳未満	一五、五七一	八九七	九四、五	五、五
四十歳未満	二七、六六二	二二三〇	九二、六	七、四
五十歳未満	一五、六〇六	一七七〇	九〇、〇	一〇、〇
六十歳未満	六八七二	一〇九五	八六、二	一三、八
七十歳未満	二二四一	四八八	八二、一	一七、九
七十歳以上	三〇九	八三	七九、〇	二一、〇

之れによつて見れば女に在つては十六歳乃至四十歳の間は男に對して其割合低きも、十六歳未滿に高く、又四十歳以上より其割合の遞加せるも共に大に注目に値する。昔支那の孔子は君子に三戒ありと云はれたが年齢と犯罪との關係は單り男子のみでなく、婦人に於ても亦大に戒め、且つ研究を要するとと信ずる。

九

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

職業案内（十一）

料理方

西洋料理人

某洋人傭

口料理人も只今では一つの婦人職業と見做事が出來る位ゐ、隨分澤山あり、從つて料理人を養成する學校等も出來ましたが、現在働いて居る人達の中には、學校出の人々は極めて稀であります。其の多くは、初め半年位ゐ普通の家庭で奥様方から敎へられ、大略料理の心得が出來てから、初めてお屋敷に料理人として入るのです。勿論素養が少ないのですから、西洋人の家庭等に入つた人々は一二年の間は奥様やお孃様から手を取るやうにして敎へられるのが常です。

口料理人の責任として、臺所を清潔に整理すると云ふ事は申す迄もなく、全部を任せられた場合には材料から調理の方法迄、經濟と衛生とを旨としなければなりません。其の上西洋人に使はれる時には、如何なる家庭でも、仲働と一所に、掃除から、洗濯、靴下の繕ひ迄する事です時には料理よりも之等の雜務の方が、反つて面倒に思はれる時もありませうが、婦人の料理人を雇ひ度いと望まれる場合には斯う云ふ事も凡て賴み度いからであります。

口然し一方には又自由の處もあります。外出等は毎日午後の二時から四時頃迄の暇の時間であれば何時でも許され、夜分は決して主人の仕事をするやうの事はありませんから、自分の裁縫なり讀書なり自由に時間を費す事が出來ます。月給は大公使、武官邸等は非常に高價ですが、一般は十圓乃至十二三圓、初めから一人前に仕事が出來る人ならば十六七圓以上です。十圓以下と云ふは殆どありません。勿論食事は自分持ちです。

料理仲

某家の料理仲

日本の普通の家庭では單に料理人として雇ふより、料理仲として仲働き兼帶の方が多く歡迎されてゐます。特別の來客などのある時には、夫れ〱專門の料理屋があること故、日常の仕事と言つては奥（その家の御家族）と下（召使ひ達）との毎日の惣菜を美味しく手際よく作れば宜しい。山サ醬油の味が分り西洋料理が二三品と日本料理で茶椀蒸しの眞似が出來れば、夫れでもう資格は充分です。獻立は自分で拵らへて取り締りの老女の檢閲を經るのが普通ですが家によつては老女の方から指定して呉れる所もあります。この料理仲の名義で傭はれた場合には、朝だけ他の女中達と一所に屋内の掃除をし、そして後晝と夜との惣菜を拵へ、その暇々は少しづゝ解き物などを致します料理仲は夕食のものを作つて了へば、その日の仕事は終りますので、夜は何をしやうと自由です。給金は駈け出しのほや〱で四圓から四圓五十錢、七八圓迄は上りますが、頭がキビ〱と働く人でなくては、初め一寸麻胡つく仕事です。多く桂庵から上ります。

新刊紹介

口金沙集　（茅野雅子女史作）　與謝野晶子女史と共に、嘗て鐵幹門下の双璧と歌はれたる茅野雅子女史が、多年の詠作中より撰んで一集と成されたものであります。晶子女史の歌の覇氣あり、華々しきに比し雅子女史の歌はしんみりと生活の流れに觸れた深い調子あるのは嬉しいことです。全篇を分つて「なさめの日」「春愁」「見えぬ世界」「秋のおとづれ」「寂しき日」「母と子」とされて居ります。詠じて居ると、さや〱と青磁の玉の鳴るやうな好ましさがあります。羽二重の匹田鹿の子の製本床しいものです（發行所神田區南神保町十六岩波書店定價八十錢）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

都會人の退化

猿の如く熊の如かれ

薄田斬雲

□私は此の問題を實例に依って解り易く語りませう。

□私は東北の田舍者で、善良な東京っ子になる事は一生掛つても出來ないのです。東京っ子になるといふ事は、一口に言へば上品になる事です。身の廻りを嗜む事です。私の樣な我雜者には到底も之が出來ないのです。

□處が何うでせう、私の子供は、そろ／＼純東京氣質になりかゝって居るのです。二言目には見っともないと言ひます。外容を大變氣にします。女の子は十四歲、男の子は十二歲、共に東京で生れて東京で育ったのです。

□私は此の二人の子の爲めに、毎日田舍者扱ひにされて、身の廻りの修飾を戒められるのです。

私は此の二子に對して亂暴な言語を用ゐ、野蠻らしい言動を強ひて居るに拘らず、二兒は周圍の感化からして、何時の間にか、所謂お上品な江戸っ子になりかけて居るのです。二言目には氣味が惡い、汚ないを連發して、お雛樣の樣に控へ目にする退化的江戸っ子は、私が好かないのです。

□で子供等をば田舍育ちの蠻氣ある強い者に育てやうと思ふが、私一人の感化は、二子の學校生活、途上生活の感化力に負けて了ひます。三代東京に住めば、人間は、へな／＼の厄雜者になると言ひますが、實に進取の氣象を失はせ、都會生活は、消極的退化的の人間を造るのです。

□東京生活は狹苦しく窮屈ですから、子供等は、外から歸って來ると、先づ「足を拭け」「ごみをはたけ」と言はれます。「散らかしてはいけない」「行儀が惡い」「順從しくせ」「片付けよ」斯樣な文句が母親の口から間斷なく發せられるのです。之では子供等も伸びる餘地がありません。身の廻りを氣にして戰々競々の體です。

□私は妻に向って、モッと束縛制裁を減ずる樣に言ひますが、妻は妻で、他人が來た時不體裁では困ると言ふ寸法から割出して、子供等をお雛樣式に仕付けるのです。併し之も大に理由のある事で、已に東京に住むとなると、斯うしなくてはならない樣に周圍から壓迫されるのです。整頓だの、淸潔だの、柔順だの、行儀だのは勿論善事です。都會の生活は修飾の生活ですから自然お上品になるのです。

□併し、人間は萬全を得られません、修飾に心勞すると、强烈な態度や頑强な力は無くなります。改革思想も進取の氣象もなくなります。萬事控へ目に、人先きへ出しやばらない樣に、愼み深く、斯くして遂に退化して行くのです。子供には六分の亂暴氣がなくては強いものになれません。

□「お行儀能く」「お上品に」之が都會生活のモットーです。之は偏した俗智から割り出した事で、天才的、將た大才的のモットーではありません。習俗な人間を造る爲めのモットーです。潑溂たる元氣はお行儀お上品からは生れません。

□私は子供には三分の不潔を許し、又亂暴を許し、而していか物喰ひの習慣を與へ、猿の如き人間を造らずして、熊の如き人間を造らん事を希望します。お上品とお行儀とは子供を意氣地なしにするのです。

十一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

牧場から家庭に

牛乳の良否を見分くる方法

牧人社主任

牧人舎は洋畫家柳敬助氏の令弟が、今度雜司ヶ谷に設けられた牧場です。牛は悠々と草を食み、鷄は彼方此方と餌をあさつて居る間に、鄙びた洋館が、長閑な太陽を浴びて赤く輝き、和蘭陀の田舍を思はせるやうな氣持ちのよい設計です。

□牛乳と牧場

普通一般には、牛乳の眞價は其の含有されて居る脂肪分の多少に依るものと定められて居りますが、も少し委しく申しますと、空氣のいゝ場所で、優良食料を與へられて、親切に飼養されたものから得た牛乳が、最も優良のものであるのです。北海道邊の牛乳が優良であると云はれて居るのも、此の條件を具備して居るからの事で、如何なる地方でも、これに適應して飼育して行けば、勿論立派の牛乳を得る事は容易であります。西洋等で「牛乳を求るのならば、先づ牧場を一覽せよ」と云はれて居る位ゐ、飼育の方法と乳との關係は深いものであります。

□之れを選ぶ時

然るに我が國の今日の牧場を見ますに、物價騰貴の爲め、今迄豚の常食になつて居た豆殼、餡殼等が牛馬の食料とされるやうになり、其の他の二條件も會々忘れられて居る場合が少なくないやうでありますから、需要者は單に脂肪の多少に依つてばかり牛乳の價値を定めず、も一歩根本に向つて其の眞價を探らねばなりません。第二には牧場で如何に優良の牛乳を出しても、配達區域が餘り隔つて居りますと配達時間を要しますから其の間に細菌の作用に依つて、有害バクテリヤが發生しないとも限りません。それ故歐米の牧場では、配達に三十分以上を要する場處は、注文に應じない所が澤山あります。これは生乳でありますが、それでなくても、矢張り理想から云へば近所の牧場に越した事はありません。

□牛の歲と種類

乳牛は五歲から十歲の牛の乳が最も優良です。種はゼエルシーが第一で、百分中四分五厘の脂肪を含み、エアシャ種は三分五厘で、前者よりは脂が少ないのですが、乳質はよく、脂肪球も細くて大分優良なものです。ホルスタイン種は僅に三分と云ふ最低位のものですが、これ等を一見、見別けますには、牛乳を瓶に挿入してから三十分程たつた處で透して見ますと、ゼエルシー種ならば、瓶の三分の一位の處まで薄黄色をした脂肪が浮きます。種の惡いのならば其の割合が少なくなりますから直

十二

家庭の化粧 (22)

▲神聖な家庭の象徵▲
▲現代要求の化粧法▲

〃皮脂の分泌調節〃
〃脂肪質にもよる〃

過剩する皮脂は、健康で美しい皮膚の機能に故障を起さしめて、元來ならば、皮膚の色艶を美しく生々とせしむべき皮脂が反つて皮膚を害するものとなつて來るのであります、その過剩を防いで、生々とした美しい皮膚の色艶、健全で艶々した皮膚として、皮膚の機能を全うせしむるのがクラブ化粧水で、其の皮膚の性質いかんを問はず、美化する點に於ては何等の相違もないのでありますが、要するに皮膚の皮脂分泌の程度を調節して、美しい必要の程度だけの皮脂を保留し、過剩を去り、不足を補ふ作用がある點に於て、他の一時的氣休めの清水同樣な無害無効の品と違ひ、使用して直

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ぐ判ります。けれども嬰兒に與へる牛乳は、餘り脂肪分の多いのと、青草を多く食して居る牛の乳は下痢を起し易いので、産後間もない牛の薄い乳で草食させないのでなくてはなりません

□保存の方法

又牛乳は配達を受けると同時に飲用致せば宜しいのですが、都合上其のまゝ置きます場合には、化學的に藥品を使用致す事もあります。然し手輕く致しますには、物理的の方法を用ひて、冷却するか煮沸して置くのです。其の中最も有効なのは、冷却方法です。完全に冷却貯藏する時は十四日間は些しの變質を見ないと云はれて居ります。冬季は成る可く空氣のいゝ處に置き、夏季は配達されたらば、直ちに水瓶又は冷藏庫中に收めて置きますと、腐敗を防止する事が出來ます。理想から申しますと、規模の小さい親切な牧場が各所に澤山散在して居るのが需要者の爲めには宜しい、非常に事業を擴張して居る牛乳屋は、取り次ぎ店と同樣思はしくありません。殊に口栓等のペーパーを惡い糊で張つたり、甚しきは唾液で貼り付けたり致す事があります爲め、折角の消毒も無意義に終る事が少なくはありません。其れよりも、口栓の護謨を衞生紙に替へて毎回取りかへ、出來るだけ、純良のものを供給するやうにし度いと思ひます。

雛の節句の献立

和田むめお

一、霞汁(白魚、つくし、こま〲ほうれん草の白赤合せ味噌汁)
二、小鯛の白酒やきと桃の花
三、わけぎ、きすのぬた。
四、小鴨肉、色つけ生麩、グリンピース、
五、口取(春の野かん、鹿の子きんさん、岩石玉子、かまぼこ、ころ柿海苔まき、)
六、菓子、(初音、ひし形もち、あられ)
七、甘酒、

□霞汁　土筆の莖のはかまを除き一寸位に切つて白魚はきれいにゴミを去り、赤と白の味噌等量を充分すつて煮出汁で伸してうら漉にかけ、前の二つのものを入れて火にかけて、後よりこま〲ほうれん草を投じて、暫くしてから火からおろす。

□鯛の白酒やき　小鯛のこけを去り三枚におろして、うす身を取つて鹽をなし、洗つて二つ折さして串をさしたものを燒きます。後白酒を塗つて赤さつとあぶつて串をぬいて皿につけ、桃の花を一輪鹽水で洗つてそへて出す。

□ぬた　きすは三枚に卸し、うす身小骨を取つてパラ〲と鹽をふり、十分位したならば洗つて酢をかけておく、わけぎはさつと茹で、一寸五分位に切り、きすも刺身程の大さに切つて甘味噌をすつてうら漉して、砂糖と酢でゆるめたものに和へろ。

□旨煮　小鴨の肉を適宜に切つておき生麩は、節句頃になれば、赤、白、青、鶯など、色々と美しく染めわけたものが出ますから、好みのものを水につけておいて、煮出汁、みりん、砂糖を煮立てた中に入れて煮て、半ば煮えたらばせうゆをさしあさより、グリーンピースを罐から取出して詰つたものをも加えて又一寸煮こみます。

にその差別が見える爲めに、夙に日本名物の稱を博し、高貴の御料にも召されますのも、亦全く之れが爲めであります。併し之を以てクラブ化粧水は脂肪質にも荒れ性にも適して居るといふものではありません、即ち萬能的に誇張すべきものではなく、皮膚に對する有効の力は、他の化粧品類に一歩をも讓るものではないが、クラブ化粧水は特に脂肪質に適して之を調節する力が大であるといふのであります、若し同じ脂肪質にも程度もありませう、一樣には申されませんし、皮膚によつてはいろ〲の關係もありますのでクラブ化粧水の外に、クラブ乳液をもお勸めせねばなりませんが、その程度方法は、此の次に述ぶることゝしまして、こゝにはクラブ化粧水が、脂肪質の皮膚に最も適した化粧水であることを述べ、そしてその脂肪質によつてクラブ乳液を適當とすることのあるとを述べて置きます

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

二疋の蜂

花崖

梅が馨香の高い花を見せて、野には枯草の間に菫菜や蒲公英が鮮かな色を見せ、眼に見えて春は動いて來ました。日蔭には未だ霜があつても、日向は汗ばむやうなある暖い日のことです。二疋の蜂が長い冬の空腹を抱へて花蜜を探しに出かけました。一疋は放逸な享樂主義の蜂で、他の一疋は謹嚴な節制主義の蜂です。二疋は久振りの暖味に菫菜に戲れ蒲公英を訪ひ、梅の香を賞め味ふて、やがてやつて來たのは一叢の椿の木です。木には深紅の花が一杯に花瓣を展げて、春のお料理は拙宅に限ると云はぬばかりに咲き誇つて居ります。二疋は又も得たり賢しとばかり蜜を啜り初めました。併し節制主義者は斯うして自分を樂しませる間にも折々蠟を取つて巣を作るために股のところへ塗りつけて居ますが、享樂主義者は只もう旨いお美味しい樂しい嬉しいとばかりで感覺の愉快を貪つて居ます。

と彼は枝から枝に移る時に不圖蜜の一杯這入つてる小瓶が懸つてるのを見出しました。「おい君、之は何うだい。」と云ひながら彼は長い瓶の口へ首を突込んで貪り初めました。節制主義の蜂は呼ばれるまゝに來ては見ましたが、一口甜めて見ると頗る旨い、之は澤山やり過ぎると酔ふと思ひましたから、眞の二口三口啜つて、「君是は餘り無茶に吸ふと危ないよ。」と忠告しながら又花の方へ移つて極く衛生的に適度の悦樂を享けて居ました。

やがて日が暮れかゝりました。節制主義の蜂は最う巣へ歸らないと暗くなると思ひながら享樂主義の蜂のところへ戻つて來ました。

「君最う歸らうよ。」と彼は云ひました。

併し相手は否とも應とも答へません。只末後の者のやうにハツ／＼と苦しさうに息を切らして居ます。彼は甘味を檢束なく心の欲する儘に貪つたものですから、スツカリ甘味に醉つて仕舞つて、足は竦む、羽は動かず、胃がムカヽついて、體は怠るし、何うすることも出來なくなつたのでした。

「おれは最う兎ても助からない。すまないが先に行つてくれ給へ。」と彼は云ひました。

「困るなあ、何うしても駄目かい？」

「あゝ何うしても駄目だよ。いゝ加減にしておくと能かつたんだがね、體の爲になることでも無節制にやるとそれが末路だよ。」

彼は苦しい息の下から漸くのことで之だけ云ふと息を引取つて仕舞ひました。

子供の智慧

□足袋屋のおちちやん

ていちやん(五つ)は、植木屋さんの愛娘です。或る朝針さ布さをもつて「おさつちやん、人形のオベベを縫つて」さ頻りにせがむ、父「おさつさんは男だもの、お仕事は出來ないよ」さいふさ「だつて足袋屋のおちちやんは、いつでもお仕事をして居るよ」さ。靜かな朝の空氣を破つて、一同の笑聲起る。

＊＊投書を歡迎します＊＊

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

小説

「力」（八）

木内錠子

お英がまだ漸と八つ九つの頃で有つたと思ふ。

夫は初夏の夕暮の様に覺えて居る——洋燈が點いてから、祖母や大伯母（父の伯母で其頃實家に當るお英の家に起伏して居た不幸な老婦人）に相手をせられて、きしやご彈きかなぞをして遊んで居た折を、何の話が緒になつたものか、突然壁に寄つた長火鉢の前で炭を繼ぎ足して居たお英の母親が、

「お前は大きくなつたら何におなりだ」と笑ひかけて尋ねるとまだ遊び盛りのお英の頭腦には是と云ふ明晰した了見のついて居やう筈もなかつたので、何と返事をしていゝものやら一寸どぎまぎしたが、其儘默つて居ては濟まされない様に考へられたので、

「軍人かなんかの奥様にでもなればいゝの」

時折祖母や大伯母等が家に一粒の娘の將來を慮つて、聟養子にはいづれ官吏か軍人かなどゝ話し合つて居るほんの座興染た相談事を小耳に挾んで居たのが、ふいと思ひ出されたので、いゝ加減な口から出まかせを云つて見た。

自分ながら何となく間が惡くなつて、掌底に上せて居たきしやごをばらりと疊へまいて、片端から彈き出した。それでもどうやら自分の頭の上に屆いて居る母の目ざしが氣になるので、恐々上目遣ひをしてそつと其貌色を窺ふと、お英は總身に水を浴せかけられたやうにヒヤリとした。

母親の鋭い面も明らかに失望を語つた居る眼の光がおづ〳〵仰いだお英の臆病な視線と出會すと、はつとして思はず身體が固くなつた。

「さうかい、それ丈けしか考へて居ないの」

冷やかに云ひ放つた一語は、少女の心を鉛の様に重くした。

「さう〳〵それでいゝのだともね」

平常から病身な故で、世間の祖母達の様に孫の面倒を見る事の出來なかつた祖母は、さし障りのない取做し貌をした。實際お英は祖母の手に依て、湯に一度入れられた事もなければ、髮一筋掻き揚げて貰つた記憶はなかつたのである。お英の幼ない記憶に止まつて居る祖母は、いつも南の六疊の間に屛風を立てゝ、一年の半分以上は床の中で、三度々々粥とか牛乳とかソップとか子供の眼には食物とも藥とも見分けのつかない食事を運ばせて居た。從つてお英が十五になる迄も祖母は存命へ居たけれど、嘗て祖母に對して心から親しみを覺えた事はなかつたのである。

稻妻のきらめきの様に、お英の子供心を射通した母親の強い目色は、八つ九つの子供に如何様印象を刻んだであらうか。

慈愛深い母親の子に對する期待——命に替へても愛するを辭せぬ母親の全力を傾け盡した靈魂に、其育まれた、一人の娘は少しも目覺めて居なかつたのである。

お英は何と云つていゝか分らない程濟まない氣がした。今のは間違ひでしたとも云ひ繕ろはれず、されぱと云つて何と云つたら其心を和める事が出來やうかとも當圖がつかないので、おどおどしながら涙ぐましい目を伏せて興さめた遊びを投げ出した。

「英さんが十八九にでもなつたら、定めし大丸髷かなんかで濟まし返つてお出でだらうが、其時分には私なんぞは草葉の蔭

十五

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

に居るに違ひないのだが—何とかして穴の中からでも見る事は出來まいかね」

口輕でよく戯談を云つては人を笑はせる大伯母は、委細お構ひなしのはしやいだ調子で面白さうに笑つた。

お英は子供ながら自分が大きくなつて、どうにかならなければ母親に對して申譯がないと呆然考へ込んだ。

お英に對する母親の期待は何で有つたらう。

嘗てほんの絃道を開けさしてやる丈と云つて習はせられた長唄を復習つて居ると、氣分がよいので床の上に起かへつて居た祖母が「音締が惡くないから師匠にもなれやう」と屛風の中で云つた時、颯と母親の氣色ばんだ險しいまなざしがお英の頭上に走つた。

女學校に通はせられて居る時分も、お英には唯一人の從姉で有つた親類の娘が小學を終ると、其儘お裁縫の稽古にしかやられて居なかつたので、其母親なぞは嫉妬と羨望をつき交ぜて、

「英樣だつて高が女の子ぢやないか、あんなに教育々々つて仕舞ひにどうする氣なんだらう、今に聟になりてがなくなつて了ふぢやないか、教師にでも仕立る氣かしら、嫌だね、教員なんかーい丶年をしてさ赤毛の束髪かなんかに海老茶袴でお白粉が流れた顏を、日向に曝して子供達と手をつないで運動場をのそ〳〵—全く氣が知れない」

此樣な憎まれ口を聞いて居る事も薄々耳に入つた。

女學校に行くのは實際其頃では珍らしい位で有つたのである。お英の量見から當推量すると、無言の中にほゞ汲み取られる節々が、どうも教員の資格を作らせる志であつたらしい、父親も後には必竟天性はどうにもならないから當人の好き嗜む道をやらせると云ふ意向を洩した。

母親は母親で、「決してお前に結婚させないと云ふ譯ではない、只私の一念を徹して世間に立派に親をたてさせて呉れたら」と繰返して云つて居る。

教育も何にもない世間の娘達が、相當の處へ緣附いては、世間並の顏をして居るのが勝氣な母親には、云はうやうなく腹立たしかつた。

じつと夢見る樣な氣持になつて、お英は目の前に幼なかつた昔の光景を繪卷でも擴げる樣に浮べて見ると、呑氣な大伯母や病身な祖母の俤も、年經た寫眞のやうに記憶から薄らいで了つて居るが、只母親の强い目ざし計りが燒付いたやうに殘つて居る。

お英は腑甲斐ない自分の現在の狀態を淋しい心持で眺めながら、大伯母が口癖の樣に云つて居た大丸髷の時代はいつになつたらあらはれるだらうと思ふと自然に微笑まれるので有つた。

十六

新刊紹介

□禁酒（長尾半平氏著）著者は鐵道院中央管理局長として、令名を馳せて居られます。嘗て九州にあつて、鐵道從業者間に興風會なるものを起し、盛んに禁酒を勵行し事務の振肅は類例を見なかつたと言ふ。緒言の一節に「私は三十年間の實踐躬行に對しても、禁酒を説く資格もある、權威もあると信じて居るから、鐵道興風會の大會席上などで演説したものを基とし、是に多年の經驗談を交へて作とし、友人のすゝめもあるに任せて、此小冊子を作つたのである」と。此の種の書物は、多く讀まれる丈け人類の幸福は増進されると信ずる。（發行所麹町區麹町三丁目丁未出版社定價（上製五十錢並製二十錢）

□トルストイ一般人叢書（加藤一夫氏譯）第一編愛ある處に神あり、第二編殺人者の悔恨、第三編三人隱者、第四編傻入等、トルストイ研究の盛んな昨今、これ等手頃な叢書の世に出づるのは、世人の要求を充たすに便宜であります。第一篇の加藤一夫氏譯の外は、何れも青年文士の譯に成つたものでありますが、トルストイの作の内容を窺ふには、差支へありませぬ（麹町區麹町三丁目九洛陽堂 發行定價各册三十錢）

□主婦の友（三月號）私の感心した獨逸の主婦氣質（山脇博士）三人の子供を博士とした未亡人の苦心（記者）夫の意氣地なしを歎く妻（新渡部博士）お金を上手に遣ふ五つの秘訣（佐治實然氏）等を卷頭に置いて、神經痛を根治した經驗、子供が出來ぬと云はれた私の出産等の實驗談、及び經驗の取り方の實驗談等、凡て平易を旨として、實益記事が滿載されて居ります。（一冊十五錢東京巣鴨町 一八二九家政研究會發行）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□聖上行幸　葉山に御避寒中の天皇陛下には、十四日午後一時自動車にて三崎なる東京帝國大學臨海實驗所に行幸、各所を御巡覽遊ばされ、殊に附邊の風光を御觀賞相成り、鮮魚御買上等の御事あり。又十九日午前九時半には橫須賀鎭守府に行幸、十五日起工式を擧げたる特務船「劔ケ崎」の建造を初め、各所を御巡覽の後、新艦山城に臨御、再び鎭守府に還幸御晝餐を召されて、追濱航空隊に行幸遊ばされました。

□三殿下葉山へ成せらる　十七日鎌倉御用邸に御一泊遊ばされし、東宮殿下には、十八日午前九時半淳宮高松宮兩殿下と自動車に御同乘、葉山なる兩陛下に御對顔天機奉伺の上、聖上陛下と共に小磯の濱海岸を暫く御逍遙、午後二時二十分御退出遊ばされました。

□御蠶室御增築　宮城內紅葉山下の御養蠶室は年毎に規模を擴げさせられしが以つて昨今御手狹と相成り、今回其の後方に、日本館平屋建六十坪の極めて質素なる、御休所並標本室を御增築遊ばさるゝ事に御決定。四月陛下還啓遊迄に落成の筈と承ります。

□新御用邸地の踏査　御避寒地たる葉山御用邸は好適の土地でありますが、御避暑地としての日光御用邸は濕潤で霧が多く、山岳地帶も餘り高くなく、特に夏季は氣象の變化が多いので、宮內省にては適當の土地選定の上、御變更相成る事となり、箱根、足柄、甲州、秩父、茨城、千葉輕井澤の山間山麓に係員を派して踏査して居ります。

◎米墺交涉破裂　伯林タイゲブラツト紙の所報に據れば駐墺米國大使　墺國政府との交涉談判破裂し對米國政府は在墺米國市民に對し此際直に墺國を引揚ぐべき旨警告せりと傳へられます。

◎三王國の抗議　發送丁抹瑞典及諸威の三王國は獨逸の潜航艇攻擊に關し同一の抗議書を送る

◎米國墨國に干涉か　米國國務卿ランシング氏は在墨米人に對し、「米國政府は墨國叛徒が勝利を得るとも、其政府を承認せず之が爲場合によりては武力干涉をも辭せざるべし」と發表して其の勢を示しました。一方ヴヰラ軍の一隊は、既に米國領土に侵入して、掠奪を行ひ、數名の米人を殺害せりと。

◎ウヰルソン氏正式就任　大統領ウヰルソン氏は、十七日上下兩院聯合會に臨み選擧得票計算の結果正式に大統領に當選せる旨發表しました。其得票は二百七十七票にして、副大統領マーシャル氏の得票も亦之と同數なりし由です。

◎靑島役の記念館　畏き邊にては、靑島戰役に從軍せし陸海軍人の忠勇を永久に傳へさせらるゝ思召により建安府北方の廣場に、地をトして平屋建七十坪の記念陳列館を建設する事となり經費十二萬圓を計上し九月頃竣工の豫定であります。

◎東京市の御大禮記念事業　昨年東京市が御大禮祝賀會を催した當時、聖上陛下より金十萬圓の御下賜がありました。此の恩賜金は當局に於て愼重審議の結果全金額を以て水道公債を購ひ、其の利子五千五百餘圓を以つて記念圖書を購入する事となりました。其の內三分の二は堅實なる新刊圖書で道德、修養、學術の方面に限り、年に約三千冊、三分の一は江戶賚料、地歷を初め文藝物をも蒐集の筈です。

◎大阪醫科大學病院燒失　十九日午後一時三十分頃、大阪中の島なる大阪醫科大學病院、本館第二號館中央より出火し忽ち四方に燃え擴かり、遂に同院全部と相隣れる醫科大學の病理學教室を除きたる全部合計四棟と、西隣の中島小學校民家六戶を燒きて五時漸く鎭火致しました。原因は看護婦が過ちて、吸入器を引くり返したるアルコール洋燈の火が床に擴がつたのです。同院は約四百名の患者を收容せる事とて、非常に物凄き光景を呈しましたが死傷者を出さなかつたのは不幸中の幸でした。損害は明白いたしませんが、建築數のみにて六十萬圓其の他得難き研究品等も澤山燒失致しました。因に病院校舍の保險額は五十萬四千圓の由です。

◎笠置艦坐礁の責任者處罰　軍艦笠置坐礁事件の責任者、櫻井大佐及奥名大尉に對する軍法會議は、今回判決がありました。即ち大佐は罰俸七百五十圓、大尉は同四百圓に處せられ、大佐は佐世保鎭守府附より、吳海軍工廠檢査官に轉補されました。

◎洲崎遊廓の大火　十四日午後三時頃より洲崎遊廓內華八幡樓の湯殿より出火し貸座敷其他七十戶を燒失し、重輕傷者十數名を出しました。損害は頗る莫大であると申します。尚ほ當日燒けのこりし大八幡樓は十八日午前六時俄然發火して、全部燒失致しました。原因不明。

◎三田守眞氏逝く　元東宮侍講として、今上陛下に佛語御進講を奉仕したる、宮內省御用掛從四位勳二等三田守眞氏は、昨年來より風邪の氣味にて病床に居られましたが、遂に十二日牛込の自邸に逝かれました。畏き邊にては在官中の功勞を錄し特旨を以つて正四位に叙せられました。享年六十二歲。

◎小蘋女史の訃　南宗畫の大家にして帝室技藝員なる小蘋野口親子女史は長らく病床に引籠中の所十七日午前十一時逝去されました。女史は阿波の人、松邨春岱氏の女で、幼時から畫を好み、京都の日根對山に師事しました。上京したのは明治四年で、以後今日に至る迄、閨秀畫家は勿論、南畫に於て男子さへも其の右に出づる者なき不世出の唯一人として知られた人であります。享年七十一實に女史を失ひたるは我南畫界の一大損失であります。

◎神近市子の公判　昨秋十一月九日相州葉山日蔭の茶屋に大杉榮（三十三）を刺したる神近市子（三〇）に係る、第一回公判は十九日午前十時半、橫濱地方裁判所刑事部第二號法廷に、新保裁判長以下檢事辯護士列席の上開廷されました。同日辯護士より、大杉、野枝、宮島資夫の三氏喚問を申請しましたが却下され午後一時閉廷。次回は三月二日午後二時から開かれる筈です。

◎女醫の受驗者　改正された醫師法に依つて行ばれる醫師試驗は、二月一日から既に施行されて居ますが、專門學校卒業者以外の者は受驗資格が無い事に改正された爲め、何時も二千人以上に上る受驗者が本年は六十六名に減じ、中女子が四十八名の大多數を占め、全部東京女子醫學專門學校出身者であると申します。

◎女中學校開かれん　東京基督教婦人矯風會にては、女中の爲めに夜間を利用し赤坂新町の同館に女中學校を開き、國語習字、作文、作法 裁縫を教授致す由です。

◎慈善市の賣上　既報の通り十六、十七兩日帝國ホテルに於て催された、米國赤十字後援バザーは非常の成功を收め、賣上高は計算未了なるも約一萬圓以上に達しました。追つて英佛兩國に在勤中の米國赤十字隊員援護費として送らるゝ筈です。

◎女學校長懇話會　中川女子高等師範學校長の發起で、都下女學校長の會合が、十七日午後一時からお茶の水同校會議室で開催されました。出席者は中川氏を初め橫山女子高師附屬主事、三輪田女學校教頭、宮田成女學校長、小林第三、鈴木第二兩府立女學校、松浦女子大學附屬主事の七氏で將來とも時々會合して女子教育の方針に就て一致の行動に出づる旨を決議し六時散會致しました。

十七

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

◉**女子教育界の新記録**　女子師範學校出身の訓導で義務年限中休職のまゝ入學し得る學校は、東京及び奈良の高等師範學校に限られて居りましたが、昨冬奈良縣下の一女教師が、義務年限中にも拘らず休職のまゝ東京裁縫女學校入學の許可を願ひ出ましたのに對し、文部省は詮議の結果、共立女子職業學校、和洋裁縫、東京裁縫の如き、文部省の中等教員無試驗檢定を認可して居る學校各科(京都府立第一の專攻科の如き)は自由に入學を許可される事となりました。

◉**婦人に軍事思想養成の爲**　大日本在郷軍人會にては、今回在郷軍人の名譽を保持し、向上發展を圖ると共に郷黨に軍事思想を涵養するには、その妻子を教育修養せしむることが必要であるとの趣旨から十五日午後五時より富士見軒に於て協議會を開き、出所文部次官、槇山督學官、武部同省參事官、同省稲垣茂一諸氏、東京女子高等師範學校教授後閑菊野、大江壽美子、伊藤くら子の三女史東京裁縫女學校長渡邊滋の八氏を招待し協議會を開催し、近く其の具體案を發表する由です。

◉**婦人修養倶樂部例會**　同倶樂部にては十八日午後一時より神田一橋共立女子職業學校講堂に於て講演會を開催し、鳩山春子、下田歌子、鶴見左吉雄諸氏の講演を行ひ、餘興には長唄(新曲浦島)芳村孝次郎、杵屋静四郎連中出演しました。

女學校だより

△**深川裁縫女學校**　廿三、四の兩日生徒の製品展覧會を開催する由。

△**體操學校女子部**　體操及び音樂の教師を養成する、麹町區飯田町一の日本體育會、體操學校女子部にては、目下生徒募集中です。入學願書締切は四月七日。

△**佐藤高等女學校**　來る廿五日午前十一時から同校講堂に於て創立記念式を擧行午後一時から生徒の學藝會を催すとの事です。

△**千代田高等女學校**　十七、十八の兩日同校に於て生徒製作品展覧會を開催

△**京都淑德高女**　四年生徒約五十名は田島校長と擔任教師に引率せられて、十六日朝京都地方裁判所に至り、妻の虚榮を満さんとして遂に罪を犯すに至つた、岩井直七の公判を傍聽いたしました。

△**各女學校の入學試驗日割**　△青山女學院　四月九日。　△女子學院　四月十一日。　△東京高等女學校　四月一日午前八時より(本科一學年)。　△佛英和高等女學校　本年は一學年生のみ募集するので無試驗です。　△東京裁縫女學校　入學試驗はありませんが、唯高等科だけは行ひます。　△跡見女學校　身體檢査のみして入學試驗はありません。　△東洋家政女學校　無試驗入學が出來ます。　△女子醫學專門學校　試驗執行の場合は四月四、五日頃、但し今の所では執行されるかどうか不明。　△三輪田高等女學校　三月三十一日　△三田高等女學校　四月一日午前九時より。　△山脇高等女學校　四月二日。　△中村高等女學校　四月一、二日。　△千代田高等女學校　四月五、六日午前八時より　△成女高等女學校　(第二學年以上)四月五、六日午前九時より。　△麹町高等女學校　(本科第二學年以上)四月五、六日(實科第二學年)四月五日午前八時より。　△錦秋實科高等女學校　四月五、六日。　△東洋高等女學校女子美術學校　四月六、七日。　△香蘭女學校　四月七日午前八時より。　△東京府女子師範學校(豫備科)　二月廿二、廿三日、廿四日(本科二部)四月四、五、六、七日。　△府立第一高等女學校　三月三十日、同四月一、二日。　△府立第二高等女學校　三月三十一日、四月一日。　△双葉高等女學校　四月四日。　△共立女子職業學校　(高等師範科、甲乙受驗科)四月二日(甲に本科)四月四日。　△實踐女學校　四月四、五日。　△女子英學塾四月九日、體格試驗十、十一日。

個人消息

▲**池田きん子**　(縣立千葉病院皮膚科附看護婦長)今回森村市左衛門氏の經營する新嘉坡の護謨園附として雇傭さるゝこととなり、十三日午後三時五分千葉驛發の列車にて出發の途に就きました。

▲**神野つう子**　大藏省理財局長神野勝之助氏母堂、つう子刀自(七十六)は十二日逝去されました。

編輯室より

▲前週の編輯を終へて木曜夕に東京を發つて大阪に向つた編者は、この月曜朝歸京して、早速この號の編輯にとりかゝりました。▲富嶽や比叡の連山は、雪を頂いて一層美しく、國府津の海濱名潮は冬さもなき長閑な波を寄せてはかへして居りました。なほ旅中の快感に浸りながら、筆をとりました。

人事相談所

□本所は婦人週報社の附屬事業として、世の煩悶に惱める男女に同情し、精神上、生活上其他有ゆる相談に應じ、最も善き解決を與へます。

□本所は絶對秘密の下に、結婚調査、人物調査、財産調査、男女學生品行調査・裁判上の證據調査等の御依頼に應じ親切と誠實を以て其の任に當ります。但しこれは依頼者が至當と想はれる程の低廉な調査料を申受けます。

□本所に御相談なされたい方は、書面にて申越されるか、若しくは直接面會に來て下さい。面會時間は日曜水曜を除くの外午後零時より、午後四時迄です。

東京牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地
婦人週報社内(電話番町四五六六番)
人事相談所

婦人週報(毎週金曜發行)

定價表
△每部金五錢(但し郵送料五厘を含む)
△一ヶ月(四部又は五部)金二十錢
△三ヶ月(十三部)金六拾錢
△半年(廿六部)金壹圓拾錢
△一年金貳圓廿錢

廣告料
△特等(表紙の二、三、四)金參拾圓
△壹等(表紙の三、白紙前付)金廿五圓
△貳等(色紙の表側)金廿貳圓
△參等(色紙の内側)金貳拾圓

注意
▲御註文は一切前金の事▲雜誌代用は必ず一割増の事▲送金の爲替名宛は東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地婦人週報社▲振替口座は東京三一六六〇番▲雜誌發送を以て領收書に代ふ

編輯兼印刷人　東京市京橋區銀座四丁目一番地　小橋三四子
印刷所　福音印刷合資會社東京支店
發行所　東京市牛込區市ヶ谷田町二丁目十七番地　婦人週報社
振替口座東京三一六六〇番　電話番町四五六六番

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

御註文の節は婦人週報にて見たる旨御記入を乞ふ

主婦之友

立志美談 三博士の母堂…（寺尾愛子）
△私の感心した獨逸の主婦かたぎ（山脇博士）
△良人の意氣地なしを歎く細君へ（新渡戸博士）
△お金を上手につかふ五つの秘訣（佐治實然）
△新婚の愛嬢に送つた母親の手紙（某博士夫人）
△大家族の主婦としての私の日常（安部夫人）
△子供が無いといはれた私の出産（大井夫人）

寫眞鑑定 婦人運命判斷…（船井梅南）
日本一の心相學者梅南翁の觀相せるもの也。
△ひどい神經痛を根治した實驗談（三名實驗）
△必ず全癒する胃腸病の家庭療法（中村松乃）
△僅かな費用で建てた便利な家屋（三角錦子）
△女子供にも出來る有利なる副業（一記者）
△表彰されたる節婦なみ女を訪ふ（記者）
△女中の心得（其二）掃除の仕方（某夫人）

若き妻への註文廿箇條
四人の青年紳士が妻に對する赤裸々な註文。
△名流若奥樣の家政振り…（加納子爵令嗣夫人）
△夫婦共稼で月收卅三圓の新家庭（ゆき子）
△月收六十五圓で六人家内の生計（さき子）
△月收八十五圓の醫學士の家計振（はる枝）
△手輕で美味な經濟料理の拵へ方（成田夫人）
△古今名婦鑑（毎號連載の繪入講談）…（野口復堂）

繪畫小說 「浪子」繪物語…（石井滴伯）

三月號出來 一部十五錢 送料一錢 半年分九十錢 一年分一圓八十錢
東京家政研究會 東京巣鴨町振替三三七八六

RÔMAJI

第十二巻 第三號

定價送料共 一部金拾參錢 一年分前金 壹圓四拾錢

□世界時事解説……向 軍治
□方言の投書に就て…文學博士 藤岡勝二
□ドイツの羽制運動…早大教授 煙山專太郎
□再び保安協會に就て…法學士 蒲生俊文
□選擧とローマ字…ドクトル 山本有成
□名士の國字論……（德富蘇峯 島地默雷 兩氏）
□ローマ字ひろめ會の會員
濁諸君に……男爵 阪谷芳郎
□支那漫遊によつて得た感想……文學博士 上田萬年
□ローマ字とエスペラント……秋田雨雀
□日本の人よ……水野葉舟
□私の感想……小川未明
□世界の美術(2)……石井柏亭
□藤岡博士に與ふ……文學士 多田齋司
□外國語研究欄……慶大教授 向 軍治

第四回學藝講話會
（詳細は本號廣告欄にて見られよ）

東京市麹町區有樂町一ノ三 ローマ字ひろめ會 振替東京九一一番 電話本局五二五六

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察毎朝及毎夕但祭日及日曜之他
院長診察　月、金、木午前及（木）午後六時
林、峰間両副長は目下當院に在勤
東京三番町三十番地（市ヶ谷見附内）
電話番町　六二番　**東洋内科醫院**
院長　醫學博士　**高田畊安**

電話ちがさき二番　**南湖院**
神奈川縣茅ヶ崎海濱（從停車場半里）
河野、高橋両副長は目下當院に在勤
院長診察　土曜日　午後入院診後應需
診察毎朝但祭日及日曜及土曜之他

高木鋒子考案
鳩印安全股引

此股引は男女の別なく和洋服の下に用ひて着心地よく從來のものと異り横でボタンを嵌め外すやうになつて居りますから衣裳を崩す患ひなく且つ暖かく至極衛生に必要な品であります

□ 大人用　大 五十錢　小 四十五錢
□ 子供用　カンビネーション　大 六十錢　中 五十五錢　小 四十錢
□ 型紙何れも五十錢

婦人週報社代理部
振替三一六六〇

○診察、午前、夜間
松下皮膚科醫院
○京橋南八丁堀櫻橋際
（電話京 二二三一番）

◎**產婦人科**◎**小兒科**
宅診午前　往診午後
病室、產室ノ設アリ入院ノ需メニ應ズ
院長　女醫　**吉岡彌生**
東京市麹町區飯田町四丁目卅一番地
電話番町 二二五七　**東京至誠病院**

產科、婦人科、小兒科
東京府内藤新宿番衆町卅一番地
女醫　**井出茂代**
電話番町三六七七番

内科 小兒科　**第一家庭病院**
院長　醫學士　**加用信憲**
（入院隨時）　牛込區矢來町二十四番地
（電話番町二八〇一）

家庭牧畜の顧問に應ず

牧畜は誠に人の生涯の一源泉たり
各家庭に鷄と乳用山羊を飼養して新鮮なる卵と滋美なる山羊乳を搾取して天恵に浴するは幸福なり
小舍は牧畜に些の經驗なき人に其實益と趣味を全ふせん爲め種畜の購買販賣飼養衛生一切の顧問に應ず同好の士幸に愛顧を玉はらんことを希望す

雜司ケ谷水久保一三八
牧人舍
家庭牧畜顧問部

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

品切の處改禎増刷成

ドクトル 富士川春也先生著

處方
調劑
自療寶典

洋装美本
全一冊

正價五拾錢
郵税内地六錢

不完全なる自療書を信頼するは自ら喉に刃を擬するに等し茲に本書あり自療書中の權威たり!!!

後は野ごなれ主義儲け主義に世間が傾くに從つて最も眞面目なるべき、最も愼重なるべき、醫學上の書籍までが其の爲に無責任極まる危險のものが流布せらるゝやうになつた如何はしき素人治療法等が即ち夫である世の素人が無責任な書に依て自療せんごし却つて危險狀態に陷ることは決して珍らしい事ではない、本書は決してソンナ無責任極まつたものではない事を斷言する。

本誌の讀者には郵税は當方にて負擔

東京神田區駿河臺鈴木町
電話本局三一八五番
振替東二九〇二九番
佐藤出版部

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

發行所 東京市牛込區市ケ谷田町二丁目十七番地 婦人週報社

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA